



15 ことわざ

プリント2

国語のワーク3・4年生

次のそれぞれの意味に合うことわざを後の□から二つずつ選び「」に書きましよう。

① よくばって両方だめにする事。

② 他人のことにいそがしくて、自分には手がまわらない。

③ その道の名人でも失敗することがある。

④ 手ごたえがなく、効き目がないこと。

⑤ 価値のあるものでも、人によってはありがたみがない。

あぶはちとらず

豚に真珠

医者の不養生

ぬかにくぎ

豆腐にかすがい

かっぱの川流れ

猫に小判

紺屋の白袴

弘法も筆の誤り

二兎を追う者は一兎をも得ず

## 15 ことわざ

## プリント3

国語のワーク3・4年生

ことわざの意味と使い方について作文を書きましよう。後のことわざから一つ選び、「例」を参考にして、作文を書きましよう。

〔例〕「泣きっ面にはち」

「泣きっ面にはち」とは、よくないことが重なるという意味です。たとえば、次のようなきに使います。

宿題のノートを忘れてしまって先生に怒られた。さらに、その日返されたテストの点数が悪かったので、家に帰ってお母さんにも怒られた。先生にも怒られ、お母さんにも怒られ、さんざんだった。

このようなときに、

「先生にもお母さんにも怒られるなんて、泣き面にはちだ。」と使います。

「どんぐりのせいぐらへ」

〔意味〕

どんなにくらべても同じようなものだ。

「仏の顔も三度」

〔意味〕

優しい人でも、何度もひどいことをされたら怒る。

ここにあることわざでうまく作文が書けない場合は、自分でことわざをさがし、意味を調べて書いてみましょう。